

2023年12月吉日

# 運輸総合研究所 研究報告会 2023年度冬(第54回)ご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

運輸総合研究所におきましては、「研究報告会 2023年度冬(第54回)」を会場参加および オンライン配信にて開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。

ご参加にあたりましては、大変恐縮ですが、申込み専用URLからお申込み頂きますようお願い申し上げます。 敬具

記

日 時:2024年1月29日(月) 13:30~16:50 (開場13:10~)

会場:運輸総合研究所2階会議室及びオンライン配信(Zoomウェビナー)

費 用:無料

プログラム:研究員からのそれぞれの発表にコメンテーターを設け、報告の概要と意義についての 解説や討議、参加者からの質疑応答を行うことにより議論の深度化を図ることとして

おります。(詳細別紙参照)

お申込み:下記のURLよりお申し込みください。

https://krs.bz/jterc/m/sympo54

※会場への来場参加につきましては、定員に達したため締め切りました。 オンライン視聴につきましては引き続きお申込みを受け付けております。

※お申し込み頂いた方には、直後に**自動返信メールを送信**いたします。 **未着の方は、下記メールアドレスまでお問い合わせください**。

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

お問い合わせ:一般財団法人運輸総合研究所 (担当:小林、前田)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 (UD神谷町ビル)

TEL: 03-5470-8415 FAX: 03-5470-8401

E-mail: collo@jttri.or.jp HP: https://www.jttri.or.jp

# 運輸総合研究所 研究報告会 2023年度冬(第54回)

〇日 時:2024年1月29日(月)13:30~16:50

〇会 場:運輸総合研究所2階会議室及びオンライン配信(Zoomウェビナー)



〇費 用:無料

○その他:撮影・録音は禁止させていただきます。

## **くプログラム>**

開会挨拶 宿利 正史 運輸総合研究所会長 1 3:3 0-1 3:4 0

## 報

(1) 「観光資源としての鉄道の存在意義

―観光資源化へ向けた取組みと効果― |

1 3:4 0-1 5:0 5

武藤 雅威 運輸総合研究所主任研究員 発 コメンテーター 西藤 真一 桃山学院大学経営学部経営学科教授

プレーター **屋井 鉄雄** 運輸総合研究所長 計論・質疑応答 モデレーター **屋井 鉄雄** 運輸総合研究所長 **主なSDG s 関連項目** 



## (発表概要)

観光列車などの鉄道観光資源を活用した観光客誘致が鉄道沿線地域における一つの活性 化策として考えられる。これまで観光資源と考えていなかった鉄道資産を再評価し、観光 資源化を進める方策もあろう。本研究では、秘境駅、撮影スポット、鉄道遺構といった既 存研究において比較的知見の少ない鉄道観光資源に焦点を当てる。これらの観光資源化に 取り組んでいる自治体や関係団体における保存・整備の在り方、財源、地元にもたらす効 果等について実例を調査し、鉄道観光資源によって地域の活性化が図られるのか、どのよ うに鉄道観光資源として活用すべきかについて考察する。

休 15:05-15:15

(2) 「コンテナターミナルにおける海と陸の情報連携

─東南アジアでのデジタル活用事例を踏まえ─ 」 15:15-16:40

表 大森 孝生 運輸総合研究所特任研究員 コメンテーター 石黒 一彦 神戸大学大学院海事科学研究科准教授 討論・質疑応答 モデレーター 屋井 鉄雄 運輸総合研究所長

主なSDG s 関連項目



### (発表概要)

東南アジア諸国(インドネシア等)の玄関港コンテナターミナルでは、海側(船舶)だ けでなく、陸側(トラック車両・鉄道等)情報を活用した効率化に取り組んでいる。

本研究では、特にトラック属性情報を活用した事例とデジタル化を進めるコンテナター ミナルの動機づけや収益構造に着目する。海と陸をデジタル情報で連携させて成長する港 湾運営組織とそれを支える人的資源、更には、本邦港湾物流の生産性向上にヒントとなる ポイントについても考察する。

屋井 鉄雄 運輸総合研究所所長 閉会挨拶

16:40-16:50

# 運輸総合研究所 研究報告会 2023年度冬(第54回)

# ~ 登壇者・講演者・コメンテーター プロフィール ~

### 開会挨拶 宿利 正史

一般財団法人運輸総合研究所会長

1974年東京大学法学部卒、運輸省(現:国土交通省)に入省。航空局審議官・管理部長・次長、大臣官房総括審議官、自動車交通局長、総合政策局長、大臣官房長、国土交通審議官、事務次官を歴任。2013年8月から東京大学公共政策大



学院客員教授(交通政策)、2014年4月から一般社団法人国際高速鉄道協会(IHRA)理事長、2021年6月から公益財団法人日本海事センター会長を務める。2018年6月より現職。

### 報告① 武藤 雅威

主任研究員

1989年東京理科大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年鉄道総合技術研究所に入社。 浮上式鉄道開発本部計画部計画課長、輸送情報技術研究部交通計画研究室長、信号・情報技術研究部上席研究員、企画室戦略調査課長等を歴任。元東京理科大学大学院理工学研究科客員教



授、元慶應義塾大学大学院理工学研究科非常勤講師。現東京交通短期大 学運輸科非常勤講師。専門領域は交通計画、鉄道計画。博士(工学)。 2019年より現職。

### 報告② 大森 孝生

特任研究員

1985年3月東京大学法学部卒業。同年三井物産株式会社入社。以後、米国(ニューヨーク州及びカリフォルニア州)・シンガポール・インドネシアでの海外勤務(計17年)を含め、運輸・物流分野でのサービス構築・事業運営に従事。



海外(10数拠点)での港湾運営・DX実践、多様な商品群・業界を対象とした物流コスト・在庫削減、ネットワークモデリング等の物流ソリューション提供、物流ロボット活用・自動化推進。2023年7月より現職。

### モデレーター、閉会挨拶 屋井 鉄雄

一般財団法人運輸総合研究所所長

1985年東京工業大学大学院理工学研究科土木工学 専攻博士課程修了。東京工業大学工学部土木工学科 助教授、教授、マサチューセッツ工科大学客員准教 授、東京工業大学大学院総合理工学研究科教授、研 究科長、同大学環境・社会理工学院教授、副学長を



経て、2023年4月から同大学特命教授・名誉教授、2023年5月から東京医 科歯科大学特任教授。交通政策審議会委員、社会資本整備審議会臨時委員、 アジア交通学会会長を歴任。学位:工学博士。専門分野:国土・都市計画 環境交通工学。2023年6月より現職。

### 報告①コメンテータ 西藤 真一

桃山学院大学 経営学部 経営学科 教授

2000年関西学院大学経済学部卒業,2005年同大学大学院経済学研究科博士課程後期課程満期退学。2021年博士(商学)。財団法人運輸調査局(現・交通経済研究所)、2010年から島根県立大学を経て、2023年から桃山学院大学経営学部教授。専門は地方の航



空・空港政策や地域政策。著書に『交通インフラの運営と地域政策』(成山堂書店、公益事業学会「奨励賞」・国際公共経済学会「学会賞」)、『航空・空港政策の展望:アフターコロナを見据えて』(中央経済社、加藤一誠・西藤真一・幕亮二・朝日亮太編著、「住田航空奨励賞」)など。現在、国土交通省交通政策審議会航空分科会臨時委員、航空局「持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会」委員などを務める。

### 報告②コメンテーター 石黒 一彦

神戸大学大学院 海事科学研究科 准教授

1994年東北大学工学部士木工学科卒業,1996年東北 大学大学院情報科学研究科博士前期課程修了。東北大 学助手,神戸商船大学講師,神戸大学講師を経て,2009 年より現職。2008年博士(学術)。2021年より日本 海運経済学会副会長・事務局長。専門は港湾計画,物 流計画,海運経済学。受賞はThe Best Paper Award in



relation with the International Journal of Shipping and Transport Logistics, IAME Conference 2022など。現在の主な研究テーマは,港湾効率性評価,離島港湾プロジェクトの便益評価,Sea&Air輸送の実現可能性分析,内航船員不足の経済影響推計。